



オーストラリア直送レポート

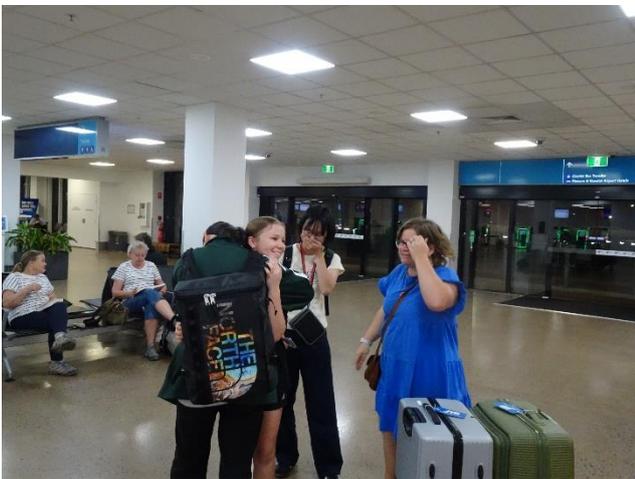
Vol.7 2024.8.18 別れの日

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 本林
吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉
八幡中学校 熊ノ郷

【ドリップストーン校グループ】

ついにダーウィンを去る日がやって来ました。研修生たちは、それぞれがホストファミリーと一緒に過ごす最後の1日を楽しんだ後、集合時間の21時に合わせて続々とダーウィン国際空港に集まってきました。ホストファミリーが空港から帰ってしまうまでに記念写真を撮ったり、ハグを交わしたり、お世話になったお礼を伝えたり、別れを惜しむ姿が印象的でした。中には、涙が止まらず帰国を悲しむ研修生も複数人いました。



ダーウィンからブリスベンへ向かう飛行機の出発時間は19日の1時30分と夜遅く、空港での待ち時間が非常に長かったのですが、その間の研修生に疲れた様子は全く見られませんでした。元気に友達たちと思い出話を花を咲かせながら時間を潰し、搭乗のときを迎えました。経由地であるブリスベンまでの飛行時間は約4時間で、夜中のフライトということもあり、先ほどまで活発にしていた研修生たちも自然と眠りに落ちていました。

予定どおり5時40分ごろに飛行機が着陸し、ブ



リスベンに到着しました。赤道に近いダーウィンと比べて南に位置しているため、オーストラリアに来て初めての冬らしい寒さが感じられました。空港の敷地内を移動するバスが来るまで、往路の機内サービスでもらったブランケットに包まって暖を取ろうとしていて可愛らしかったです。空港内では、4人1グループになってお土産を選んだり、食事をしたり、次のフライトまでゆっくりと待機できました。また、ある子は研修の終わりを目前にしてほっとしたのか、ソファでずやすや寝ていました。



10時に出国手続きを行い、11時50分に関西国際空港行きの飛行機は離陸しました。フライト時間は、8時間半にも及びました。今回、機内食として提供されたのは、ラザニアとレモンティーケーキでした。食事以外の時間は、座席の前のモニターで映画鑑賞、窓から見える景色の写真撮影など各個人の過ごし方を楽しみましたが、大半の研修生は、睡眠時間として利用しているようでした。

そして、19時20分に機体は関西国際空港に着陸し、全員が無事に日本へ帰ってくることができました。残ったオーストラリア・ドルを日本円に換金している研修生に聞いたところ、1万円以上になった子もいて、上手にお金の管理ができていました。しかし、帰国はしたものの、海外研修はまだ終わっていません。全員で集合し、事後研修や研究テーマの発表について説明を受けた後、ついに有田川町へ向かって当初の予定どおり21時前には空港を出発しました。



帰りのバスは、大勢の研修生のご家族に迎えられて、21時45分ごろ吉備庁舎に到着しました。ダーウィンに残りたいと嘆いていた子たちも、久々の再会に喜びと安心の笑顔が溢れていました。

この海外研修が、研修生のみんなにとって実りのある経験になってくれたらと思います。残り少ない研修の課題に取り組む中でも、その成果が表れることを期待しています。





[パーマストーン校グループ]

12日間にわたる海外研修の行程もいよいよ終わりが近づいてきました。

18日の20時を過ぎる頃には、集合場所のダーウィン空港に、研修生がホストファミリーに連れられて続々と集まってきます。2日前に会った時よりも格段に日焼けした研修生の姿を見ると、最後の最後までホストファミリーと一緒に充実した時間を過ごしたことがよくわかります。まだまだ日本に帰りたくないという声があちこちで聞こえてきました。



ホストファミリーと談笑していたのも束の間、お別れの時間が近づくと研修生の顔はホストファミリー

ーに感謝を伝える真剣な表情になり、涙を流す研修生も多く見られました。それを見たホストファミリーもまた涙を流し、研修生に優しくハグします。今回のホームステイによって、研修生は海外の生活、



文化を学んだだけではなく、人との繋がり、感謝の気持ちなど本当に多くのことを学ぶことができたのではないのでしょうか。

研修生が全員揃うと、一行はいざ帰国の途へ。帰国はまず、午前 1 時 30 分発ブリスベン行きの飛行機に乗ります。出発を待つ間も研修生たちは元気いっぱいです。普段は眠りについている時間帯にも関わらず、みなでお土産を選んだり食事をとったりと、単なる待ち時間も全力で楽しんでいました。

早朝にブリスベンに到着。ダーウィンに比べて気温が低く、研修生たちの多くは長袖の服を羽織っていました。ブリスベンの空港の国際線ロビーに着くと、グループに分かれて朝食をとります。食事の注文も慣れたもので、カフェでもスムーズに注文しています。



日本行きの飛行機の搭乗手続きでは、自動チェックイン端末の操作に苦戦していましたが、なんとか自分で手続きを完了することができました。スーツケースが故障するなどのトラブルに見舞われた研修生もありましたが無事荷物を預けることができました。

11 時 40 分に日本行きの飛行機が出発します。出発してすぐに周りを見回すと、ほとんどの研修生が眠りについていました。昨夜からの移動で睡眠不足気味なので、しばし体力回復の時間です。機内食を食べた後も口数は少なく、疲れた様子で

Carrier	Flight No.	Destination	Time	Gate	Row	Status	Times
Qantas	FJ920	NADI	11:35		12	CHECK IN OPENS	
Qantas	JQ023	OSAKA KANSAI	11:40		07		
Qantas	NZ146	AUCKLAND	12:15		03	Checkin Opens	
Qantas	SQ236	SINGAPORE	14:45		02	Checkin Opens	
Qantas	QF125	AUCKLAND	18:15		08		
Qantas	EK5006	CHRISTCHURCH	18:55		08		
Qantas	QF135	CHRISTCHURCH	19:25		03	Checkin Opens	
Qantas	NZ200	CHRISTCHURCH	19:25		03	Checkin Opens	
Qantas	NZ148	AUCKLAND	19:35				
Emirates	BR3204	DUBAI	21:00		04,05		
Emirates	EK435	LOS ANGELES	22:00		08		
Emirates	QF015	TAIPEI	22:15		01		
Emirates	BR316	DOHA	22:15		07		
Qatar Airways	QR899	DOHA	22:20		08		
Qatar Airways	QF197	APIA	23:30		06		
Virgin Australia	VJ084	HO CHI MINH	23:30		06		
Virgin Australia	SQ246	SINGAPORE	23:50		02	Checkin Opens	
Tuesday, 20 August 2024							
Virgin Australia	CX156	HONG KONG	00:55		07	Bagdrop opens	
Emirates	EK431	DUBAI	01:55		05		
Emirates	JQ147	AUCKLAND	06:45		07		
Emirates	OD158	DENPASAR	07:15		04		

した。



関西国際空港に到着し、飛行機を降りた瞬間忘れかけていた蒸し暑さを感じます。研修生の口からも「暑いな」といった声が聞こえてきました。帰国した日の天気は雨。乾季のダーウィンでは雨が降る気配が全く感じられなかったため、こんなところからも日本に帰ってきたことを感じます。入国手続きを済ませると、バスに乗って有田川町へ向かいます。吉備庁舎に到着するとたくさんの方々が出迎えてくれました。研修生は、家族と再会を喜ぶとともに、研修を共にした仲間との別れを惜しむようでもありました。

研修生は今後、事後研修に臨みます。それぞれが設定した研究テーマについて、現地で調べたこと、感じたことを資料にまとめていってもらいます。また、来月にはパーマストーン校の生徒が有田川町の中学校を訪れますので、出迎える際には研修生が中心的存在になることを期待しています。帰国後の研修生の動きに注目していくとともに、活動のサポートを続けていきたいと思えます。